

貯法：室温保存
有効期間：3年承認番号 16000AMZ03694
販売開始 1964年10月ブドウ糖製剤
日本薬局方
ブドウ糖

ブドウ糖「フソー」

Glucose "FUSO"

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

ブドウ糖吸収不良の患者〔遺伝性のグルコース-ガラクトース吸収不良症では小腸における両者共通の運搬体の欠損が存在すると考えられており、ブドウ糖を摂取しても吸収されずにそのまま排泄される。又、小児に腸炎や消化管の外科的切除を施行したときなどにも、まれにグルコース吸収不良を認める¹⁾。〕

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	ブドウ糖「フソー」
有効成分	1g中 日局 ブドウ糖 1g

3.2 製剤の性状

販売名	ブドウ糖「フソー」
性状	白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。

4. 効能・効果

経口的栄養補給、ブドウ糖負荷試験

6. 用法・用量

経口的栄養補給には、必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与する。

ブドウ糖負荷試験には、通常成人1回ブドウ糖として50～100gを経口投与する。

なお、年齢、体重により適宜増減する。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 カリウム欠乏傾向のある患者

本剤の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがある。

9.1.2 糖尿病の患者

高血糖を生じ、症状が悪化するおそれがある。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
消化器 ^{注)}	悪心・嘔吐、下痢、腹痛

注) 大量を経口投与する時

18. 薬効薬理

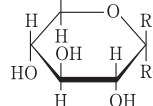
18.1 作用機序

経口投与されたブドウ糖は胃腸管より速やかに吸収され、血液中に入り、体内でエネルギー源となり代謝される。また肝、心筋グリコーゲン量をたかめ、あるいは全身の細胞機能を亢進して生体の代謝能を増す²⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般名：ブドウ糖（Glucose）

構造式：

 α -D-グルコピラノース：R¹=H, R²=OH β -D-グルコピラノース：R¹=OH, R²=H分子式：C₆H₁₂O₆

分子量：180.16

化学名：D-Glucopyranose

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。水に溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

22. 包装

(バラ) 500g 箱

(バラ) 5kg[1kg×5包] 箱

23. 主要文献

1) JPDI 2021 じほう. 2021：628

2) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店. 2021：C-4709-4714

24. 文献請求先及び問い合わせ先

扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 学術室

〒536-8523 大阪市城東区森之宮二丁目3番30号

TEL 06-6964-2763 FAX 06-6964-2706

(9：00～17：30/土日祝日を除く)

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



扶桑薬品工業株式会社

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号